

絵日記部門

●総評●

今年は、絵と文章の調和がとれている作品が少なく、審査は大接戦となりました。絵がよくかいているのに文章がもう一つだったり、文章がよく書けているのに絵がもう一つだったりして、今一步のところで入賞できなかった作品も

数多く見られました。

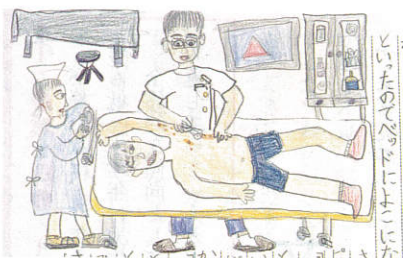
また、写真やチケットなどを貼るときは、貼る位置を工夫したり、たくさん貼りすぎないよう気を付けたりしてほしいものです。今後も、楽しさあふれる作品を期待します。

文部大臣奨励賞受賞作品

絵日記

新潟大学教育学部附属新潟小学校

二年 相澤 明彦

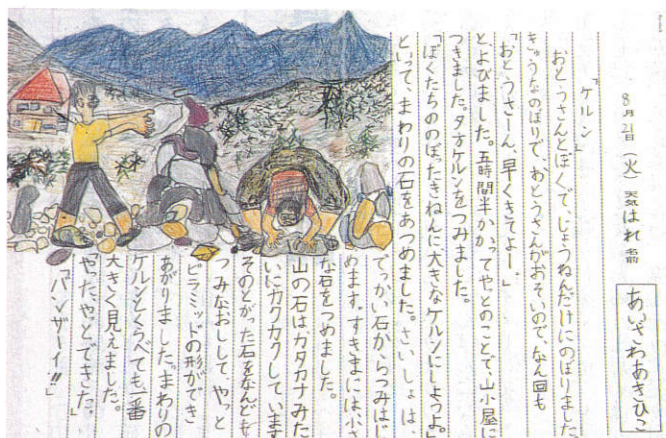


といったのでベッドにようにな

その日あったことの中で、「何を取り上げて書いてらいたいのか」を見つめる目が見事です。とりわけ文章がすばらしく、取り上げた出来事を、自分の言葉で素直に表現し

ており、内容が読み手によく伝わってきます。

また、「山の石は、カタカナみたいにカクカクしています。」といった表現からも、作者の感性の豊かさが感じられます。絵がもう少し大きいと、もっと迫力のある作品になったと思います。



8月14日 (文) 雲はれ雲

あべのあきこ

ケルン

おとつさんとぼくがいて、うねんたけにのぼりました。きょうの日は、おとつさんがおそいで、なん回も「おとつさん、早くきてよー」とよびました。五時半、おとつさんがやとのこと、小屋にきました。タオケルンをつみました。

「ぼくたちのぼたきねんに大きなケルンにしよう」といって、まわりの石をあつめました。さしは、てっかい石からつみはじめます。すきまには、小さな石をつめました。

山の石はカタカナみたいにカクカクしています。その石が、たををんがきつみなおして、や、とピラミッドの形ができて、あかりました。まわりのケルンへ、へも一番大きく見えました。

だ、た、や、と、きた、バ、ン、サイ、ン、

入賞者発表

作文部門

■文部大臣奨励賞

「できたぞ、できた。さか上がり」

(群馬・芳賀小二年) 林友里

■優秀賞

「おじいさんのたいいん」

(宮城・古川第二小一年) 白出加奈

「三人の合奏」

(愛知教育大学附属岡崎小二年) 杉浦彰子

「雨の日のお手つだい」

(埼玉・文蔵小三年) 河野弥生

■優良賞

「夏休みのできごと」(東京・成蹊小二年) 佐藤万葉

「さい、実城・岩井第一小二年」井上聖子 「お母さんは市役所の保健婦さん」(愛知教育大学附属岡崎小三年) 黄木保乃香 「おてつだいから学んだこと」(兵庫・愛徳学園小三年) 太田絵美 「もう二度とそうはつきません」(兵庫・愛徳学園小四年) 北川祐子

■佳作

「せかいでいちばんかなしかったこと」(福井大学教育学部附属小一年) 中野大亮 「ぼくのしつばい」(愛知教育大学附属岡崎小一年) 清水健生 「おぼん」(埼玉・小室小三年) 田村朋絵 「お父さん」(愛知教育大学附属岡崎小三年) 梅田勝弘 「死にかけたフナ」(宮城・中新田小四年) 鈴木崇洋 「おばあちゃんが残したもの」(群馬大学教育学部附属小五年) 林里奈 「新聞配達と私」(奈良・笠間小五年) 森井美千子 「辰巳ずしは日本一」(兵庫・愛徳学園小五年) 辰巳久美子 「先生の批評から……」(大阪・金岡南中一年) 藤原麻季 「父の挑戦」(東京・東山中二年) 藤井康代

読書感想文部門

■文部大臣奨励賞

私たちは今……「カワウソの消えた日」を読んで

(岐阜・瑞浪中一年) 須藤香

■優秀賞

よいいんけんけついつとうしゅう

(愛知教育大学附属岡崎小一年)

「カニのくらし」を読んで

(愛知・古知野西小三年) 和田しおり

「ビルマの豎琴」を読んで

(茨城・第四中二年) 大木久美子

■優良賞

「八ろう」をよんで千葉・清見台小一年 小林邦生 かわいそうなきつねたち(チロネツップのきつねを読んで)(宮城・古川第二小一年) 本田小織 うさぎのくれたバレエシューズを読んで(千葉・中山小三年) 金子知里 「時をさまようタック」を読んで(大阪教育大学教育学部附属天王寺中一年) 碓井康子 ふうちやん、ありがとうー太陽の子を読